

春 蘭



発行日：令和5年12月12日(火)

発行責任者：渡辺 博明

学校教育目標：夢に向かって進み、共に幸せな未来を拓く



岩根小ホームページ

努力を称えて ～表彰式～

11月24日(金)に、各種コンクールで入賞を果たした子どもたちの表彰式を行いました。インフルエンザ感染拡大防止のため、オンラインで実施しました。早退や欠席等で、全員に、直接、表彰状を渡すことはできませんでしたが、全校生に紹介し努力を称えました。さらなる活躍を心より期待します。入賞者は以下の通りです。

第69回青少年読書感想文県コンクール	佳作	6年	女子児童
第3回安達地区児童作文コンクール	特選	3年	女子児童
安達地区小学校児童画展	入選	5年	女子児童
第28回智恵子のふるさと小学生紙絵コンクール	優秀賞	3年	女子児童
同上	佳作	2年	女子児童
本宮市読書感想文感想画コンクール(感想画の部)	優秀賞	2年	女子児童



また、春蘭No.10で、学校運営協議会(コミュニティスクール)主催の「防犯標語・交通安全啓発標語コンクール」の入賞者をお伝えしましたが、今回、会長様に学校にお越しいただき、直接、賞状授与を行いました。このことを契機として、さらに、子どもたちの安全意識を高めていきますので、引き続き、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。入賞者を以下に再掲します。



<防犯標語>

- 最優秀賞 「エスエヌエス さそわれたけど 会わないで」 6年 女子児童
- 優秀賞 「一つだけ 自分の命 大切に」 6年 女子児童
- 優秀賞 「気をつけて それはサギかも 知れないよ」 6年 女子児童

<交通安全啓発標語>

- 最優秀賞 「気を付けよう ながら運転 悔い一生」 6年 男子児童
- 優秀賞 「ヘルメット 命を守る 宝物」 6年 男子児童
- 優秀賞 「一瞬の 気の緩みから 事故おきる」 6年 男子児童

個別懇談、お世話になりました

11月28日(火)から始まった個別懇談では、たいへんお世話になりました。お子さんのご家庭での様子を伺うことができ、お子さんの新しい一面を知ると共に理解を深めることができました。

また、学校からは学習状況や生活面について、伸びているところ、もうひと踏ん張りさせたいところなどを具体的にお伝えしました。ぜひ、この時期、ご家庭でも2学期を振り返る時間を取っていただき、お子さんの成長について認め、励ましてください。お子さんは、ご家族に認められることが何よりの励みになります。

今回の個別懇談を子どもたちの成長によりよく生かしていきますので、引き続きよろしくお願いいたします。



私の幸せ ～少年の主張～

11月26日(日)に、サンライズもとみやにて、本宮市青少年健全育成推進大会(本宮青少年推進協議会主催)が開催されました。本校からは、6年女子児童が代表として参加し、「少年の主張」



を発表しました。女子児童は、友達がいる幸せを自分の体験と共に振り返り、大勢の人の前で、堂々と自分の思いを伝えていました。「読む」から「語る」へと高まった姿に成長を感じました。

以下に、全文を掲載しますので、小学校6年生の率直な気持ちを感じていただければ幸いです。

私の幸せ

私は、この12年間で3回も転校しました。仲よしかった友達とはなればなれになったり、担任の先生が替わったりしました。転校してすぐは、さびしい思いをしました。でも、転校先では、いつもすてきな友達に出会い、たくさん励まされ、支えられてきました。それは、ここ岩根小学校でも同じです。

岩根小に転校してきたのは4年生のときでした。新しい学校でうまくやっていたか不安でした。でも、そんな不安は、友達のおかげでなくなり、今では、毎日楽しく明るく元気にすごしています。毎日の学習やいろいろな学校行事を友達といっしょに行うことで、どんどん仲よくなってきたのだと思います。特に、学校行事は、友達がいないと、自分一人の力だけでは何もできません。友達と協力し合うことで成功し、友達との仲も深まっていきました。だから、友達と支え合いながら、一日一日をすごしていると思います。

特に、今年になって、自分が一番みんなと協力したなどと思ったことは「陸上大会」と「修学旅行」です。

「陸上大会」では、走り幅跳びの選手に選ばれました。練習が始まると、となりの組の友達がすごく跳ぶので、いろいろと教えてもらいました。「もっと手を上げて跳ぶといいよ。」とアドバイスをもらったので、気を付けながら跳ぶと、少し記録が伸びました。その後も走り幅跳びの選手同士で励まし合いながら練習を続けました。

大会当日は緊張しました。助走路は、砂がまいてあつくつがもぐるので走りづらかったです。それでも、精一杯がんばろうと思って跳びました。記録は294cmでした。友達は348cm跳んだので、すごいなと思っていました。しばらくして結果が発表されました。なんと、6位に入賞することができました。友達と励まし合ってがんばってきたから、入賞できたのだと思います。すごくうれしくなりました。友達もいっしょに喜んでくれました。やっぱり友達っていいなと思いました。

もう一つの思い出は「修学旅行」です。私たちは、9月に喜多方市、会津若松市に修学旅行に行きました。

1日目、特に力を合わせて協力したのは「ボートこぎ体験」です。ボートは、みんなて息を合わせて同じ動きでこがなければ進みません。ですから、とても苦労しました。始めはどうこいでいいかわからず、一人一人バラバラにオールを動かしていました。でも、だんだんと自然にかけ声をかける人が出てきました。そこで、みんなていっせいにかけ声をかけてこいでみました。すると、少しずつオールを合わせてこげるようになっていきました。みんなて合わせられるようになると、ボートは速く進み、とても気持ちがよかったです。

2日目は、「フィールドワーク」です。修学旅行の2週間前から、班の友達と行き先を決めて順番を考えたり、店に予約をしたりしました。最初は、みんなの行きたいところがバラバラで大変でした。でも、班のみんなて少しずつゆずり合いながら、一生けん命に決めました。この時も友達の優しさを感じました。

フィールドワーク当日は、バス停をまちがえてしまいました。友達が「バス停、違うんじゃない。」と言ったので、地図で確かめると、乗る予定のバス停は一つ先でした。時間があつたので、すばやく移動して無事に乗ることができました。これも、友達といっしょだったから気付けたことだし、何とかあったのだと思います。その後は、みんなと協力し、計画した店や施設全部に行くことができました。「友達のおかげ」がいっぱいあった二日間でした。

私は、陸上大会と修学旅行を通して、友達に支えられながらいろいろなことに取り組んでいると強く思いました。「だれかのために何かをしたい。」私はこの言葉が大好きです。今まで出会った友達は、みんなそんな気持ちをもって、私を支えてくれました。こんなすてきな友達と出会えた私は、とても幸せです。

今度は、私が「だれかのために何かをしたい。」という気持ちをもって、友達のためにできることを増やしていく番です。友達を大切に、一日一日を過ごす。それが私の幸せ、ハッピーです。

